



# 営農NEWS



— 不安定な天候が続いています —

## 抑制キュウリ栽培でのうどんこ病、べと病、 褐斑病などの発生に注意してください

抑制キュウリ栽培では、8月中旬からの天候不順の影響で各種の病害が発生しやすい施設内環境になっています。抑制キュウリ栽培において問題となる主な茎葉病害には、べと病、うどんこ病、褐斑病などがあります。これらの病害は、曇雨天が続くなど発生環境が好適になれば急速に発病進展し、いちど多発生した後は薬剤防除の効果が十分に得られません。このため、これからは晴天の日をねらって予防散布に努めるとともに、病害の早期発見と発生初期の的確な防除を徹底してください。

### <防除のポイント>

- 1 施設内の過湿を防ぐため、気温や風向き等を常に注意して換気を行い、適正な温湿度管理に努めてください。
- 2 株間の通風を良好にするための整枝や剪定、樹勢を最適に維持するための適正な灌水や追肥など、常に適切な肥培管理作業に努めてください。
- 3 うどんこ病は、下葉や葉の込み合っている場所の裏葉などを丁寧に観察して、早期発見に努めてください。
- 4 病害発生を確認したら、早期に防除を行ってください。薬剤散布は十分量の薬液で、葉裏や下葉にもよくかかるよう丁寧に行うことが特に重要です。
- 5 既に多発生した場合には、発病葉や茎などをできるだけ除去した後に薬剤散布を行い、病患部に薬液が十分散布されるようにしましょう。
- 6 薬剤耐性菌の出現を抑制するため、同一系統薬剤の連続散布は避けてローテーション散布し、散布後は薬剤の防除効果を確認してください。

表1 キュウリ茎葉や果実に発生する主要病害の主な防除薬剤（平成27年9月1日現在）

薬剤名	べと病	うどんこ病	褐斑病	その他	希釈倍率	使用時期／使用回数
ジマンダイセン水和剤	○				600～800倍 600倍	収穫前日まで／3回以内
ダコニール1000	○	○	○	つる枯病、疫病 炭疽病、黒星病	1,000倍	収穫前日まで／8回以内
ベルコート水和剤		○		灰色かび病、炭疽病、 黒星病	2,000～4,000倍 2,000倍	収穫前日まで／5回以内
セイビアーフロアブル20			○		1,000倍	収穫前日まで／3回以内
オーソサイド水和剤80	○			灰色かび病、菌核病	1,000～1,500倍 600倍	収穫前日まで／5回以内
フルピカフロアブル		○	○	炭疽病	600～800倍	収穫前日まで／4回以内
プロポーズ顆粒水和剤		○	○	灰色かび病	2,000～3,000倍	収穫前日まで／4回以内
	○			黒星病	1,000倍	収穫前日まで／3回以内
ランマンフロアブル	○				1,000～1,500倍	収穫前日まで／4回以内
カーゼートPZ水和剤	○				1,000～2,000倍	収穫前日まで／4回以内
アリエッティC水和剤	○		○		1,000～1,500倍	収穫前日まで／3回以内
ガッテン乳剤		○			400～800倍	収穫前日まで／3回以内
パンチョTF顆粒水和剤		○			5,000倍	収穫前日まで／2回以内
モレスタン水和剤		○			2,000倍	収穫前日まで／2回以内
ゲッター水和剤			○	灰色かび病、菌核病、 炭疽病	2,000～4,000倍	収穫前日まで／3回以内
スミブレンド水和剤			○	灰色かび病	1,500倍	収穫前日まで／5回以内
				菌核病	1,500倍	収穫前日まで／5回以内

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040